

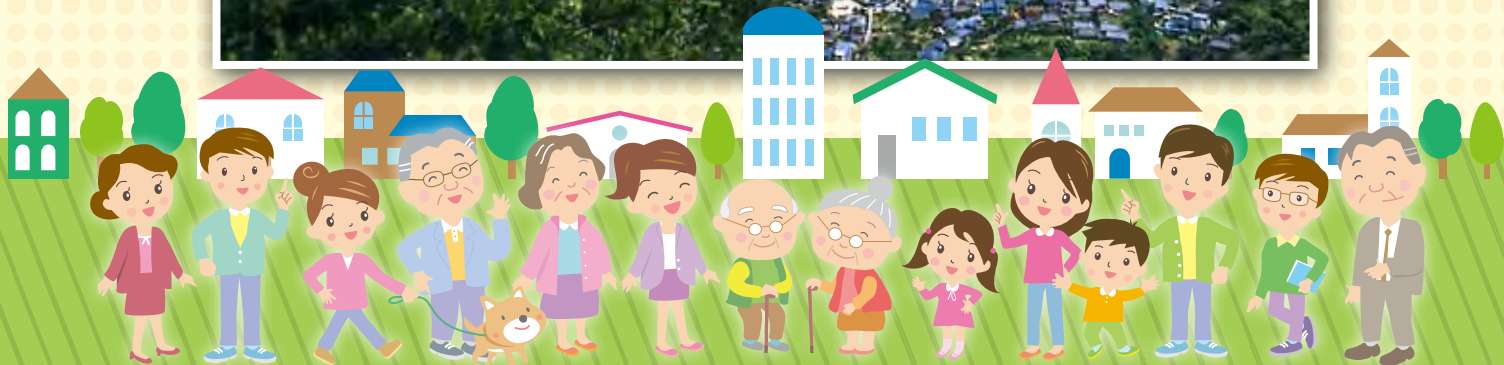
人と人 ぶれあいのある忠海

心をあわせて！

力をあわせて！

第2次地域行動プラン

(平成28年度～平成32年度)



忠海第2地区協働のまちづくりネットワーク

平成28年4月

# 第1次地域行動プランの振り返り

忠海第2地区協働のまちづくりネットワークは、平成23年6月に発足しました。第1期（平成23年度～平成27年度）の5年間は、役員会において連絡調整を図りながら、安全・安心部会、わがまち部会の2部会、平成25年度からは自主防災会も発足して、様々な活動に取り組みました。

安心・安全部会は、災害や犯罪から地域住民を守り、安心・安全に暮らせる住みよい環境を整えるため、「防災・防犯」、「福祉」という側面から、住民自らが地域の現状を把握し、より良い対策を検討・実施する取り組みを行いました。自主防災会は、災害に強い町をめざし、自治会と連携しながら、推進体制づくり、避難訓練の検討を行いました。

わがまち部会は、「まちおこし」、「歴史・文化」、「生活環境」という側面から、私たちの町の宝や良い点を掘り起こし、町の活性化や生活環境の向上につながる取り組みを、様々な団体と協力しながら行いました。

こうした取り組みを通して、「人と人 ふれあいのある忠海」に一歩近づくことが出来ましたが、また新たな課題も見えてきました。

## 第1期（平成23年度～平成27年度）の主な活動

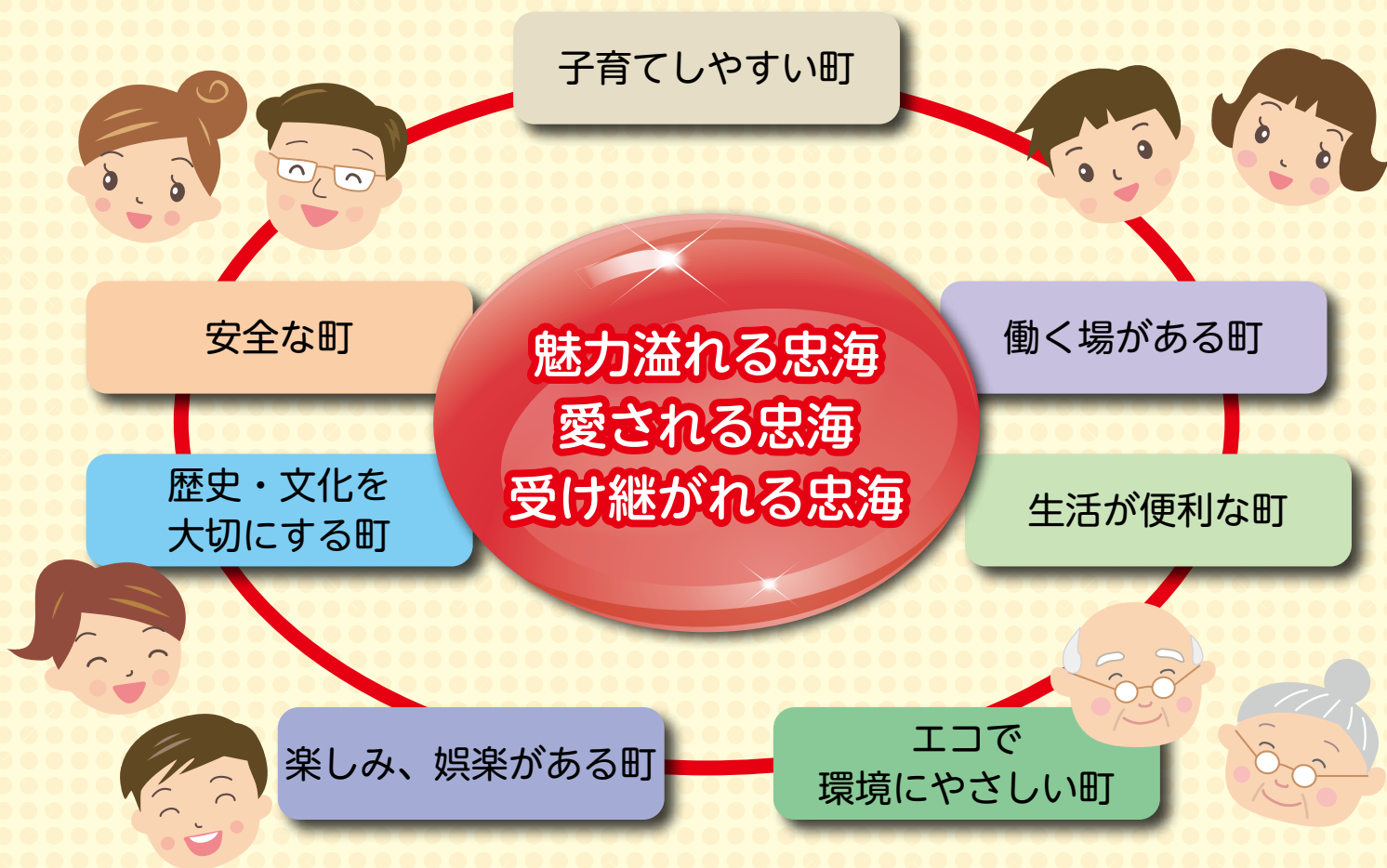
		成 果	課 題
主な活動	安心・安全部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 防災マップの作成、全戸配布、第一次避難場所協定締結（23年度）</li> <li>● 連絡体制の取り組み（23～27年度）</li> <li>● 登下校時の挨拶運動（23～27年度）</li> <li>● 自主防災組織の設立検討（24年度）</li> <li>● 「こども110番」旗の配布設置支援（24～25年度）</li> <li>● 忠海西小学校避難訓練の支援（25～26年度）</li> <li>● 「命の宝箱」全戸配布（25年度）</li> <li>● 防災関連機材、防災倉庫の整備（25～27年度）</li> <li>● 避難マップの作成、全戸配布（26年度）</li> <li>● 標高表示板の作成・設置（26年度）</li> <li>● 国道185号線歩道・バス停、忠海学園線整備要望（26～27年度）</li> <li>● 安全・安心メール配信システム（忠海西小学校、忠海小学校）登録（26～27年度）</li> <li>● 災害時飲料水確保のための井戸調査、災害時井戸使用協定締結（27年度）</li> <li>● 救急車通行・通学路の支障電柱調査（27年度）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 各自治会の防災意識</li> <li>▶ 他事業との連携</li> <li>▶ 高齢者一人暮らし、要介護者の救助対策</li> <li>▶ 若い世代との意識ギャップ</li> </ul>
	わがまち部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 忠海・三次往還に関する歴史講座（忠海地域文化伝承協議会と連携）（23～24年度）</li> <li>● 内堀公園の芝生化等支援（芝生ファンクラブと連携）（23～27年度）</li> <li>● 宮床祭での三次鶴飼実演イベント（忠海地域文化伝承協議会との連携）（25～26年度）</li> <li>● 空き地空き家対策に向けた勉強会（25～26年度）</li> <li>● いっぺんきん祭みなどオアシスでのまち巡りツアー等の開催協力（みなどオアシスただのうみ協議会への協力、26年度は「瀬戸内しまのわ2014」と連動）（26～27年度）</li> <li>● 呉線開通80周年記念事業実施（27年度）</li> <li>● 「まちづくり活動の場づくり」関連講演会開催（27年度）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 活動の目的・方向性</li> <li>▶ 参加者の意思統一</li> <li>▶ 活動にあわせた体制づくり</li> </ul>
	自主防災会	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自主防災会設立（25年度）</li> <li>● 自主防災会役員会・自主防災会議（推進体制・班体制の確認、防災訓練の検討）（25～27年度）</li> <li>● 防災関連機材・防災倉庫の確認（25～27年度）</li> <li>● 忠海西小学校避難訓練支援（25～26年度）</li> <li>● AED救命法・緊急時応急措置等の講習（26年度）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 推進体制確立</li> <li>▶ 防災計画策定</li> <li>▶ 防災訓練実施</li> <li>▶ 防災研修</li> </ul>

## 第2次地域行動プラン

### テーマ「人と人、人と自然が共生する忠海を次世代へ」

忠海は、古い歴史を持つ港町であり、黒滝山や瀬戸内海など自然が豊かで、教育環境が整い、公共施設が充実し、「うさぎ島」で有名な大久野島を有する、魅力あふれる町です。しかし少子高齢化が進み、子どもや子育て世代、労働人口が少なくなり、人口は年々減少しています。

平成28年度～平成32年度の5年間では、忠海の魅力を高め、人と人が助け合い絆を深め、いま忠海に住んでいる人々はもちろん、忠海を訪れた人々にも愛してもらえる町を目指して、取り組めます。特に、「安全な町」、「子育てしやすい町」、「働く場がある町」、「歴史・文化を大切にする町」、「エコで環境にやさしい町」、「生活が便利なお店」、「楽しみ、娯楽がある町」を目標として、第1期の成果と課題を踏まえつつ、いまある町の魅力やメリットを活かし、課題や問題点を改善する活動に取り組めます。先人が築き上げた、人と人、人と自然が共生する忠海を、心をあわせて、力をあわせて、次世代に受け継いでいきましょう。

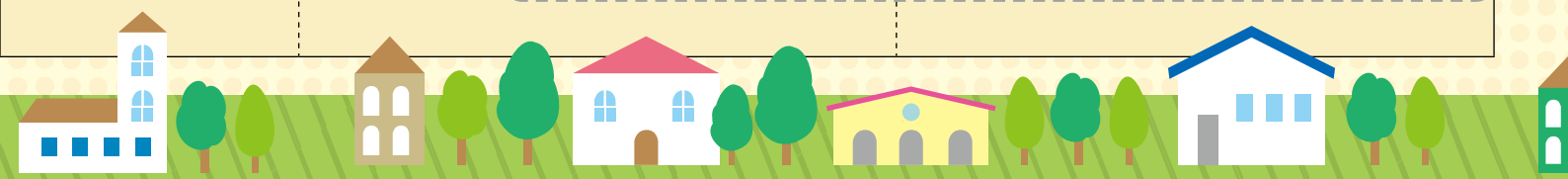


目指す方向性	今後の取り組み	取り組みの目標
安全な町	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 災害時の連絡体制をつくろう</li> <li>② 災害時、自助、互助できる住民になろう</li> <li>③ 高齢者が住みやすい町にしよう</li> <li>④ 体を動かし健康になろう</li> </ul>	連絡体制の確立 防災訓練の実施 住民の健康寿命の向上 住民の安心の向上
子育てしやすい町	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑤ 町の子どもを守ろう</li> <li>⑥ 町中に子ども居場所をつくろう</li> </ul>	子どもの安全確保 子どもの居場所づくり 子どもの社会力の向上
働く場がある町	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑦ 地元企業との協定を結ぼう</li> <li>⑧ 特産物をつくろう</li> </ul>	地元企業との協定締結 特産物の実現 新しいものづくり
歴史・文化を大切にす町	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑨ 歴史・文化を再発見しよう</li> <li>⑩ 他の地域とつながろう</li> <li>⑪ 伝統のお祭りを受け継ごう</li> </ul>	まちなかガイドの育成 他地域との交流 祭継承の取り組み
エコで環境にやさしい町	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑫ まちの生活環境を考えよう</li> <li>⑬ 山・海を探検しよう</li> <li>⑭ いまある建物を活かそう</li> </ul>	生活環境の向上 自然学習、山・海を活かしたイベントの実施 空き家の維持管理、活用
生活が便利な町	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑮ まちなか移動を応援しよう</li> <li>⑯ 人と車が共存できる道にしよう</li> </ul>	まちなか移動の改善 歩行者が安心して歩ける道路
楽しみ、娯楽がある町	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑰ 交流の場をつくろう</li> <li>⑱ 世界とつながろう</li> </ul>	旧小学校跡地の活用 在住外国人・来訪外国人との交流イベントの実施



平成28年度～平成32年度に取り組みたい事業

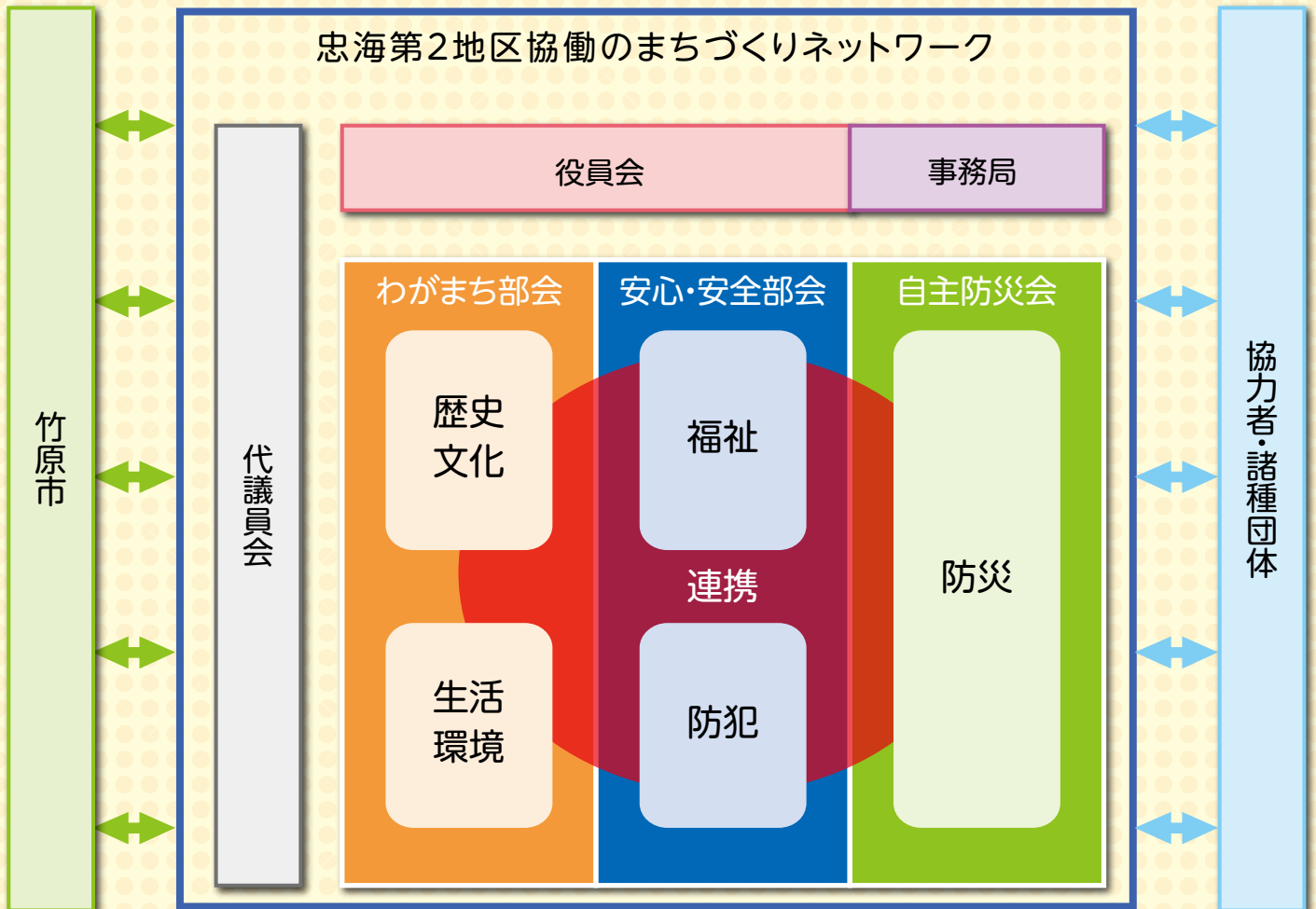
平成28年度	平成29年度～平成30年度	平成31年度～平成32年度
連絡網の整備、防災スピーカーの整備	災害時の連絡・避難体制の整備	
防災意識の高揚、防犯情報の共有	防災研修の実施、防災訓練の検討・実施	
	高齢者の生きがい対策、居場所づくり、在宅医療、地域医療機関との連携	
高齢者の安全対策	高齢者に配慮した歩道や公園の整備	
通学路の安全対策、子供の見守り活動	通学路の整備	
	声かけ・あいさつ運動	
	子どもの居場所づくり、まちなかでのおもてなしビジネス	
	地元企業と連携した防災対策・協力	
	地域資源・産物を利用した特産物の開発	
	大久野島、海・山に関連したものづくり	
	忠海の歴史・文化を知る	
	忠海ガイドづくり	
	縁のある地域との交流	
	忠海の伝統的な祭りへの参加者増加方策の検討	
	生活環境の再点検、生活環境改善の取り組み	
	忠海周辺の山・海での自然観察、散策ツアー	
	空き家の把握・維持管理の検討	
	高齢者に配慮した歩道の整備、まちなかの移動手手段の見直し	
	ゾーン30の点検、忠海中央線開通による交通状況の変化の検証	
旧小学校跡地活用の検討	交流イベント、移住者対策	
	世界の料理教室、在住外国人との交流	



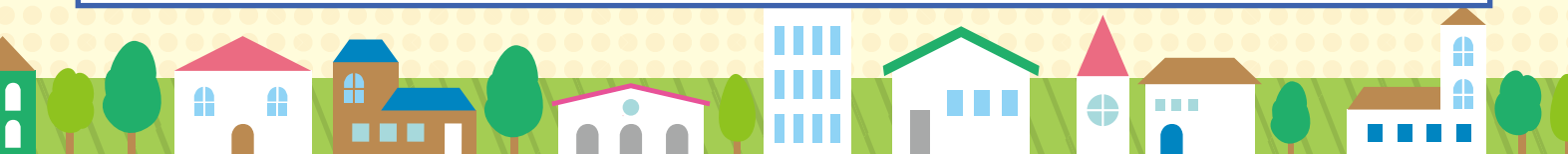
# 取り組み体制



第1期の成果を活かし、忠海第2地区にある各団体・組織と協力しながら、「安心・安全部会」、「わがまち部会」、「自主防災会」という3つのグループに分かれて、今後の事業に取り組みます。さらに、事業や取り組みの内容や特性に合わせて、3つのグループの間で、あるいは、他の団体・組織との間で、連携・協力しやすくなるように、たとえば事業ごとに「プロジェクトチーム」を立ち上げるなど、柔軟な体制や仕組みについても検討します。



- |         |               |               |              |
|---------|---------------|---------------|--------------|
| 堀越自治会   | 忠海第2地区社会福祉協議会 | ドリーム子ども会      | 休暇村大久野島      |
| 9区自治会   | ボランティアくろたぎ    | 青空つばめ子ども会     | 株式会社アラハタ     |
| 10区自治会  | 忠海学園 / PTA    | 黒滝山を愛する会      | 株式会社アトム      |
| 三新会自治会  | 忠海高等学校 / PTA  | 忠海コミュニティ推進協議会 | 呉共済病院忠海分院    |
| 可寿美自治会  | 忠海西女性会        | 明星保育園         | みなとオアシスただのうみ |
| くろたぎ自治会 | 竹原市消防団第5分団    | 忠海公民館         | 忠海地域文化伝承協議会  |
| 高見新地自治会 | 第1長寿クラブ       | NPO法人福祉ステーション | 芝生ファンクラブ忠海   |
| 中央自治会   | 第2長寿クラブ       | ただのうみ         |              |
| 駅前自治会   | 忠海地区民生児童委員協議会 | 中国芸南学園        | その他、関連団体     |





代議員総会



防災訓練



しまのわ・のろしプロジェクト



宮床祭・三次鶺鴒実演イベント



防災マップ作成・現地調査



歴史講座



小学校と連携した避難訓練



呉線80周年記念イベント

## おわりに

歴史と文化に囲まれたこの忠海の地に、大昔、山崩れがあったことを聞いたのが、今から15年前の「芸予地震」の直後でした。これは、土地の古老で郷土史家だった倉本澄さんからでした。彼女は既に鬼籍にある方ですが、この山崩れの場所が、「味瀉の海」として忠海旧制中学、忠海旧制高等女学校の校歌に謳われているのです。現三原市渡瀬に抜ける道を追ってゆくと、幸崎へ抜ける道が続く訳ですが、この筋が「味瀉の海」という海峡だったのです。つまり、海峡が山崩れにより埋没しているのです。

「2011.3.11」でも言われた「想定外」という言葉は、忠海でも通用しません。平成26年の夏、広島北部を豪雨が襲い、山崩れを生じ、大変な犠牲者を出しました。黒滝山を含む後背地は花崗岩に覆われております。この地に短期間に集中豪雨が襲った場合、予期せぬ出来事が起きやしないか心配です。忠海町内に百有余の井戸が有るのですが、この水脈が洪水を防いでいる事実を看過出来ません。

この5年間に、ネットワークとしての創成期にすべき総論的事業を中心にやってきましたが、第2期の事業では1歩進めて各論的テーマを一つ一つクリアして行く事が肝要と考えます。自然災害は忘れた頃襲ってきます。絶えず予防措置を講じる危機管理を怠ってはなりません。

「人と人 ふれあいのある忠海 心をあわせて！ 力をあわせて！」がんばりましょう。

忠海第2地区協働のまちづくりネットワーク

会長 下山生修

